

自ら起業し、経営者として社会に羽ばたくことは、看護職にとって新たな活動分野といえます。起業ナースには、大きな法人のものにはない自由さがあり、在宅ケアには、生活の場で利用者や家族、地域の方々と交わりながら共に支え、喜び合うやりがいがあります。しかし、看護の仕事はプロであっても、経営面や制度の運用は苦手であるなど、苦勞することも多くあります。

そんな起業ナースならではの思いと悩みを共有するために「やまがた起業ナースの会」が発足したのは、2013年7月のことでした。

共通の悩み、共有する場が必要

きっかけは、私が大学院で取り組んだ「看護職の起業の経緯」に関する研究のインタビューでした。協力してくださった方々が、起業に対する熱い思いと共に、経営面や運営の苦勞などを共通して語られたのです。情報交換やネットワークの必要性を感じました。

その後、研究結果の報告を兼ねて協力者の方々と食事をした際、みなさん初対面とは思えないほど打ち解けてお話をしていました。そのアットホームな雰囲気のおかげで、「やまがた起業ナースの会」が誕生したのです。

そのときは介護保険関連の方だけでしたが、2回目からは、他分野の個人事業をしていたり、起業に関心をもつ看護職にも参加を呼びかけました。

現在の会員構成は、介護保険関連事業

所の起業ナース19名（うち訪問看護ステーション11名）、介護保険以外の個人事業の起業ナース2名、さらに、起業に関心のある看護職2名、顧問として大学教授1名・准教授1名、アドバイザーとして行政書士2名、世話人事務局2名の総勢29名です。

起業した事業の内訳（複数事業の起業を含む）は、訪問看護ステーション7、居宅介護支援12、小規模多機能型居宅介護4、認知症グループホーム3、訪問介護

起業ナースの よりどころに 「やまがた起業ナース の会」の取り組み

やまがた起業ナースの会世話人代表
荒井幸子

5、通所介護11、福祉用具貸与1、介護タクシー2、有料老人ホーム10、フットケアスクール1、フットケア事業所1です。併設事業の状況は、介護保険関連3社が併設なしの単独事業経営、12社が2〜7の複数事業を経営しており、フットケア関係の2事業所は単独経営です。起業のやり方も、1名で起業した方、2〜3名の看護職が共同で起業した方や、家族で起業した方などさまざまです。それぞれ悩みは異なり、1人起業では周囲

からのサポートがないこと、看護職による共同起業では経営基盤の弱さや運営面での悩みが多く、親族との起業では多角経営となる傾向があり、その分、ハード・ソフト両面での苦勞が増えているなど、形態や規模に応じた課題があるようです。起業後の年数は1〜10年以上まで、年齢も30〜70歳代と幅があります。

ネットワークづくりと ノウハウの伝承を

会の目的は、①起業した看護職どうしが「顔の見える場」で交流や情報交換をしながらネットワークを築き、孤立せず事業運営ができるようにすること、また、②今後起業を志す看護職のために、起業のノウハウを伝える支援していくこと、などになります。現在のところ情報交換と話し合いが主ですが、今後は講演会なども開催する予定です。

これまでの例会では、自己紹介を兼ねた事業所紹介、当面の課題などを自由に話しました。看護の専門用語が飛び交い、臆することなく意見を出し合い、なかなか雰囲気のない看護師が「利用者事業所開設後まもない看護師が「利用者確保に悩んでいる」という発言をする、とさっそく利用者の紹介がなされたり、小規模多機能型居宅介護支援事業所を開設した人が同業者を訪ねし、建物の使い方や利用者確保の工夫、介護計画書用紙のつくり方などを話し合ったりしている例もあり、看護職どうしだからこそ安心し

て信頼し合える関係が芽生えています。例会は年2回の予定ですが、会員とは必要に応じ連絡をとり合い、事務局が仲介役を担っています。会費は例会のつど、必要経費を徴収しています。

経験を活かし発展していきたい

実は、私も訪問看護ステーション立ち上げの経験があります。60歳で県の保健師を退職したあとすぐ、空屋となっていた旧自宅を改築し開設しました。訪問看護を利用することで姑の介護と仕事を両立できた経験があったため、その必要性を痛感したからです。軌道に乗るまでの3年間をそこで過ごし、のちに広い駐車場のある土地に新築移転しました。8年間の管理者業務を経て、すべてを後輩に託し退きましたが、思えばその8年間は、それまでの長い看護職としての経験のなかでも、実にやりがいのある、充実した期間であったと思っています。

その後、看護学校の非常勤講師を務め現在に至りますが、最新の看護教育に触れたかと思えば、72歳のとき、山形大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程に学び、3年かけて昨年春に修了しました。近年、在宅ケアが重視され、訪問看護ステーションをはじめその受け皿となる施設や、看護・介護の人材が求められています。「やまがた起業ナースの会」は、大学教員や行政書士からアドバイスをいただきながら、起業ナースのよりどころとして発展していきたいと思っています。